

学校教育目標	校訓「勤軸」「友愛」「健康」心身ともに健康で調和のとれた人間性豊かな児童の育成 考える子・やさしい子・たくましい子
目指す学校像	「一人一人のよさを伸ばし 学びを広げる 上青木南小学校」

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	
学校関係者(教職員を除く)	13名
事務局(教職員)	3名

学校関係者評価	
※実施日 令和8年1月30日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	

領域	年度目標		年度評価(令和8年1月29日現在)	
	現状と課題	重点目標	重点目標の達成状況	達成度
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 教職員が学校運営参画意識を高くもち、教育活動を工夫しながら実践してきている。 関係機関との連携を強化し、更なる工夫改善を重ねながら、組織的に教育活動の改善を図っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 改善・改革の視点をもち、持続可能な質の高い教育活動を組織的に構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> 校務分掌の再編成とプロジェクト部会の活性化を図り、効果的・効率的な教育活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> A ○校務分掌の再編成、年間活動計画の立案、プロジェクト部会の活性化を通じ、教職員が学校運営参画意識を高めながら活動を推進し、新規の取組にもつなげることができた。 ○自己評価面談、授業観察、研究授業、本発表等の研修を通じ、教職員の強みの共有と質の高い授業実践の継続を図ることができた。 ◎学校評価15(教職員)【学校運営参画意識A+B95.5% 昨年度比同率】【A40.9% 昨年度比18.2%増】
		<ul style="list-style-type: none"> 不登校・不登校傾向児童等の家庭を中心に教育相談支援体制を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内支援体制をもとに、教育相談、特別支援教育の充実を図り、関係機関との連携、校内教育支援センター(ほっとルーム)の効果的な運用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> B ○生徒指導委員会での重点課題の共有、特別支援委員会での支援プランの作成等、校内支援体制の充実を図ることができた。 ○関係機関との連携により、家庭へのアプローチを行ったことで、継続した登校につなげることができた。 ○校内教育支援センターの運用の見直しを図り、教室を含め、複数体制での支援を行うことにより、支援体制の充実を図ることができた。 ◎【不登校・不登校傾向児童への支援率100%】
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上の研究委嘱をベースに主体的な学びをつくる児童の育成を目指し、授業改善を継続している。 努力調整方略を伸ばし、基礎学力の定着を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの研究成果を活かした児童目線の授業改善を行い、創意工夫ある教育課程を展開していく。特に、国語、算数の学力向上のための授業の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○川口市教育委員会委嘱の学力向上の研究を軸に中間層児童をいかに授業の視点と努力調整方略を伸ばす視点を中心に児童目線の授業改善を推進し、その成果を市内外へ広く発表することができた。 ○司書教諭、学校図書館司書との連携により、学校図書館のレファレンス機能と読書環境を充実させ、学力向上につなげることができた。 ◎R7埼玉県学力・学習状況調査結果【全項目県平均値を上回る】 ◎学校評価20(教職員)【基礎的・基本的な学力の定着86.4% 昨年度比18.2%増】 	<ul style="list-style-type: none"> A ○次年度は一人一人の学力の伸びを視点とし、国語科を中心とした学力向上に向けた授業改善を継続する。 ○次年度は更なる読書環境の充実と共に、各教科の授業で司書教諭を中心に学校図書館司書との連携を進める。
		<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の確実な実施と質の高い活動への改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教室訪問、授業観察等を通じた指導・助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> B ○研究授業、師範授業、プレ授業、日常的な教室訪問を中心に授業観察を実施した。1,2学期に研究の視点、自己評価シートを活用した授業観察を行い、双方向性をもった振り返りと助言を実施することができた。
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育活動を公開し、保護者・地域の方に支援をいただきながら学習の充実を図っている。 学校応援団として、保護者や地域、外部講師の教育力を生かす取り組みを充実させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の教育活動を保護者、地域に積極的に発信し、意見を反映した、信頼され誇れる学校づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会における、学校課題の協議を生かし、学校運営の活性化を図る。 ○学校公開週間、授業公開日の新規設定、コードモン等を通して積極的に教育活動を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> A ○学校運営協議会の協議をもとに、幅広く教育活動の改善を図ることができた。 ○全学年の懇談会で目指す学校像をテーマに話し合い、子どもを育む視点を共有することができた。 ○学校公開週間、連絡アプリによる教育活動の発信、日常的な授業公開を継続して実施することができた。 ◎学校評価1(保護者)【わかりやすく伝えるA+B98.0% 昨年度比4%増】
		<ul style="list-style-type: none"> 学校応援団の活用等、保護者や地域、外部講師と連携した教育活動を実践していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○専門的な知識をもつ外部講師や学校応援団との連携による教育活動の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> A ○上青木南町会・西町会、外部講師、学校応援団との連携を深め、総合的な学習の時間を中心に学習活動を充実させることができた。 ◎学校評価11(保護者)【教育活動に満足A+B96.1% 昨年度比3.2%増】
教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> 社会の変化や児童の特性に対応できるよう教職員の指導力を更に高める必要がある。 働き方改革、及び教育公務員としての自覚と使命感の更なる醸成を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の可能性を拓く、確かな指導力を身に付けた教師を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上の研究に係る授業改善、温かな学級経営等の視点をもった教室訪問、授業観察等の実施と指導・助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> B ○研究授業、師範授業、プレ授業、日常的な教室訪問を中心に授業観察を実施した。1,2学期に研究の視点、自己評価シートを活用した授業観察を行い、双方向性をもった振り返りと助言を実施することができた。
		<ul style="list-style-type: none"> 組織的に指導力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○研修の機会の設定と多様で持続可能な教職員相互の積極的な授業公開を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> A ○毎月、研究の視点から学習指導における具体的な手立てを学年の教職員で共有・振り返りを継続している。週に1回以上の授業公開を多様な組み合わせの教職員グループで実施し、学び合い高め合う教職員集団づくりを推進することができた。 ◎学校評価16(教職員)【自己研鑽・指導力の向上 100% 昨年度比同率】
		<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革の推進及び教育公務員としての誇りと使命感をもった教職員を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇業務改善スタンダード、個々のセルフマネジメントの推進を図る。 ◇業務改善会議で課題の共有と業務の見直しを行う。 ◇本校の現状に応じた問題提起を含む倫理確立研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> A ◇「業務改善スタンダード」「業務改善会議」「支援員の活用」を通じ、業務の効果的・効率的な推進を図り、教員業務の軽減を図ることができた。 ◇倫理確立委員会で「問題提起」を含む振り返りを実施し、共通理解を図ることができた。 ◎【時間外在校時間 9カ月中6カ月減】 ◎【平均時間外在校時間4月～12月30:42 昨年度比01:53減】◎教職員事故0
施設・設備等の管理	<ul style="list-style-type: none"> 施設面の経年劣化による修繕を更に推進する必要がある。 学校安全、事故防止、健康維持増進に必要な整備を継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○老朽化による危険箇所を早期発見し、安全対策を徹底していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな視点を取り入れた、計画的、日常的な安全点検のトリプルチェック(管理職・教職員・PTA)の実施と即時対応の徹底を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> A ○今年度より、同一箇所安全点検を2名体制・交代制により実施。不祥事防止の視点を追加し、更衣場所等の重点箇所の点検を毎日実施。PTA常任理事による点検も実施し、修繕箇所の早期発見と即時対応を継続している。 ◎【施設・設備事故0】 ◎学校評価6(教職員)【安心・安全な学校づくりA+B100% 昨年度同率】
		<ul style="list-style-type: none"> 学校安全・事故防止・健康維持増進を重視した、計画的・効果的な予算運用を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇管理職や事務職を中心に、年間の見直しを持った計画的な予算執行を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> A ○児童昇降口の施錠完備をはじめとした、安全、防犯対策を計画的に推進することができた。 ○トイレ・階段・黒板等の修繕、学力向上に係る環境整備、感染症予防、熱中症予防に係る整備を計画的に進めることができた。 ◎学校評価7(教職員)【衛生面・健康面・非常時の対策A+B100% 昨年度同率】

<ul style="list-style-type: none"> 極めて高いレベルで学校運営が行われている。特に積極的な外部講師による指導は大変有意義である。 目に見えないところの評価は難しいが、組織から成る横・縦の情報の共有・交換は大事であると思う。 校務分掌の再編成、プロジェクト部会の活性化等が学校運営参画意識の向上につながっていることが感じられた。数値にも表れている。 外国籍児童が増えてきていることもあり、不登校児童への対応は難しくなっているが、不登校児童数は学校運営評価のパロメーターの1つでもあり、校外の知見も活かし効果的な活動を継続してほしい。 今後も多様な支援方法を考え、実践してほしい。 PTAとして、不登校児童の解消に向けて支援できることがあれば協力していきたい。
<ul style="list-style-type: none"> 学力、体力の向上への取組は結果も出ており素晴らしいと思う。国語科を中心とした学力向上と読書環境の充実を楽しみにしている。 前年度に引き続き、中間層の引き上げが功を奏していると感じられた。読書を習慣化させる取り組みも大きく評価できる。 階段に置いてある図書も目につきやすく、子ども達が本を読む習慣が身につくのではと期待している。 見てくれているのだという意識を子ども達に確認して欲しい。一声かけることを実践してほしい。 教師の指導方法が学力等に大きく影響すると思われる。日常的な教室訪問等を行うことにより、きめ細かなフィードバックを実施している点が評価できる。子ども達同士で話し合い、答えを考える授業の進め方には感心している。
<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会の議題は理解しやすく高いレベルにあると思う。連絡アプリを活用した情報発信はきめ細かくわかりやすく素晴らしい。評価も高い。 学校運営協議会委員に現役の町会長が2名いらっしゃることで積極的に活用してほしい。 学校公開週間で授業や学校生活を見ることが出来る保護者が増えると思う。 外部講師や学校応援団との連携を深め、引き続き地域の人々が誇れる学校であってほしい。 地域から底辺を広げていく情報提供、地域・学校・家庭で支えられている構図を広めることを意識してほしい。 町会の支援体制のヒントをもらった。町会、地域住民側にも出来る事が沢山ある点に気付かされた。
<ul style="list-style-type: none"> 教職員の資質向上は良き学校運営の前提条件の1つであり、引き続き業務改善を実行してほしい。 先生シャッフルの授業もお願いしたい。様々な企業の出前授業を実施しており、上南の教育活動はレベルが高い。 学習指導における具体的な手立てや他校の実践など、教職員で共有・振り返りを継続し、向上を続けてほしい。 担任ではない先生が他の教室で本の読み聞かせをする等、工夫していると感じた。 具体的な手立ての共有が素晴らしい。
<ul style="list-style-type: none"> 見る限り、かなり時間がハードではと思ってしまう。働き方改革の言葉の本来の問題提起の上、教職員事故0は結果として素晴らしい。 以前は21時以降も働く教職員がいたが、最近は早く帰れているようで改善されていると思う。 教職員事故0の継続をしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 従来同様、適切な管理がなされていると思う。 多くの人の目で安心・安全な学校づくりをしてほしい。 防災倉庫の備品の点検を町会と一緒にやりたい。ガソリンの発電機は定期的に動かさないといざという時に動かないかもしれない。
<ul style="list-style-type: none"> 今後も安全な学校環境の維持に努めることを期待する。 施錠の防犯対策はよいと思う。学校周辺のブロック塀のフェンス(工事用のフェンス)も安全なものに整備していくことができるとよい。 学校の昇降口の周りに花がいつも綺麗に咲いていて気持ちが良い。